

日本の住宅建築の常識をくつがえす、木で『まことな窓』をつくるというチャレンジ。

それは工場をつくることから始まった。



JAPAN WOOD DESIGN
AWARD 2017



東北新幹線	東京駅→七戸十和田駅(はやぶさ約3時間)→現地(タクシー約20分)
飛行機	羽田→三沢空港(約1時間20分)→現地(タクシー約30分)
高速道路	東京→東北自動車道→八戸自動車道→百石道路→下田百石I.C.→現地(約8時間)



株式会社 日本の窓
〒034-0105 青森県十和田市大字八斗沢字八斗沢 68-10
phone:0176-58-6070 fax:0176-58-6080
e-mail:contact@madoba.jp
<https://madoba.jp>



株式会社 東京組
〒158-0098 東京都世田谷区用賀4-10-1
世田谷ビジネススクエアタワー23階
e-mail:tkg.contact@tokyogumi.com
www.tokyogumi.co.jp



すべて日本の木でつくった、世界のどこにもない工場。

八甲田山を望む緑豊かな十和田の大地に忽然と現れた建造物。丸太の列柱が立ち並ぶまは、日本の古寺かギリシャ神殿を思わせ、丸太とガラスの交錯が醸す不思議な風貌は、前衛的でありながら実直、そして確信に満ちています。この建物は構造的な刷新性も備えています。丸太4本の組柱と縦横に走るトラスが大空間を支え、屋根に10.5cmの厚板パネルを斜めに反転させながら張り巡らせ、上下・左右・斜めの外部からの力を完璧に受け止めます。雪の多いこの地域、雪下ろしより、屋根を平らにし積雪に耐えるほうを選択。積雪時に大地震があってもびくともしない構造になりました。木の美しさと大胆な造形の融合。十和田から工場の新しい時代がはじまります。





人にやさしく地球にやさしい、日本の木の窓をつくる。

私たちが木の窓をつくらうと思ったきっかけは明快です。断熱性と住まいの寿命、火災の際の延焼、CO₂排出削減、存在感、どれをとってもアルミサッシより木製サッシの方が優れているからです。素材としてのアルミは危険です。問題はコストでした。当初はイタリアから直輸入していましたが、日本の木を材料に、日本で生産し、中間マージンをなくせばコストは解決することがわかりました。イタリアPB社の技術協力と、青森県や十和田市の支援を得てついに操業を開始。十和田から日本の窓の新しい時代がはじまります。

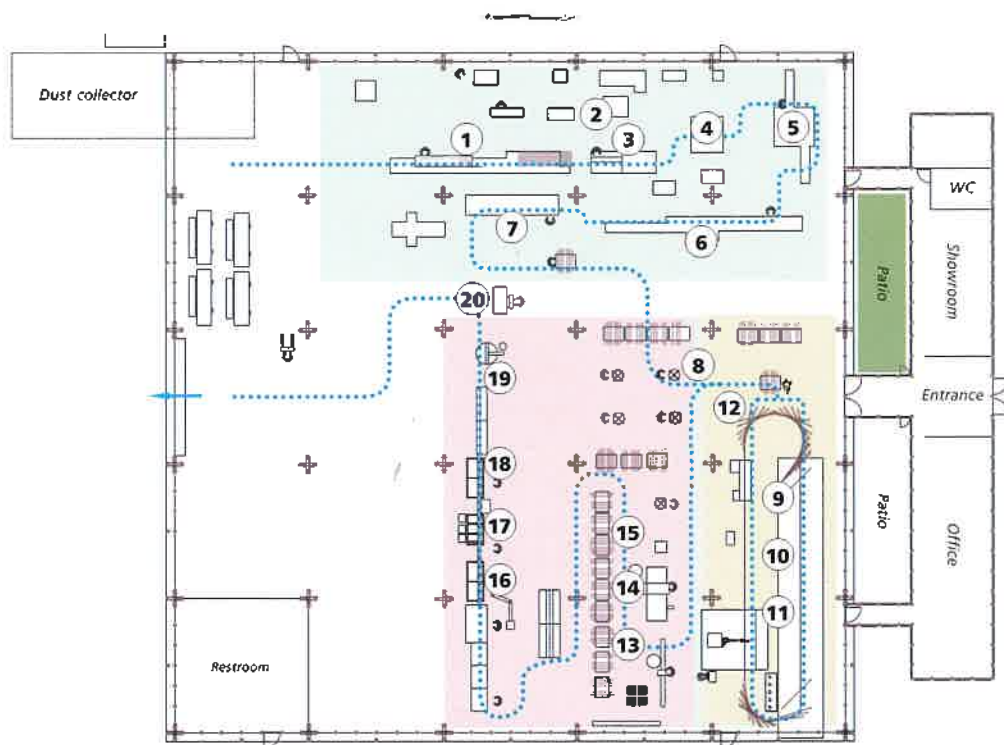


左：工場に併設されているショールーム&ギャラリー。透明アクリルに固定された窓が宙に浮いているようにディスプレイされ、実際の開閉などを試すことができます。

右：木製サッシには、片開き・観音開き・掃出し窓(すべて内倒し機能つき)と、引違い戸の基本パターンがあり、サイズは自由。丸窓や三角窓などの特注変型窓も生産可能に。



オーダーメイド。しかも、まるごと家一棟ずつの生産ライン。



ていねいにしっかり、1日60窓(1棟15窓として4棟分)をつくる。

それぞれの住まいにあった窓をつくるため、「日本の窓」はすべて注文生産。生産ラインはサイズや仕様ごとではなく、一棟ごとになっています。だから我が家の窓が木材からみるみる窓になっていく全てのプロセスを、1日で見学できます。完成した窓は工場から建設中の現場に直送。仲介業者を通さないから、優れた製品でも安価に提供できます。

加工ライン ① クロスカット → ② 一面カンナ → ③ 四面モルダー →
④ ワイドサンダー → ⑤ ロトウッド(内周溝加工) → ⑥ 組み立て →
⑦ 外周溝加工 →

塗装ライン

機装ライン ⑬ アルミ加工 → ⑭ 金物取り付け → ⑮ ロックケース加工 →
⑯ ガラス(3重ガラス)取り付け → ⑰ 押縁取り付け → ⑱ シリコン打ち →



工場だからといって美しさの手抜きはしない。

おいしい料理には、よい食材とつくる人の気持ちが不可欠です。同じように、優れた窓をつくるためにはよい素材と設備、そしてなによりそこで働く人の創造意欲が不可欠と、私たちは考えます。工場はそのための環境です。工場といえども人が生活する空間に変わりはありません。時には仕事の手を休め、ガラス越しに八甲田山を眺める。晴れた日はパティオでランチ。生産効率と働くよろこびが相反することのない、そんな工場を「日本の窓」はめざします。

人が人のためのものをつくる所、それが工場。



十和田の山と森と水が、あたらしい息吹をもたらしてくれた。



ものづくりの精神をささえる十和田の自然と文化

十和田市現代美術館(A) <http://towadaartcenter.com/>

国内外のアーティスト作品が、展示室の中だけでなく、敷地内さまざまな場所に展示されている。

十和田湖(B)

湖畔には高村光太郎の「乙女の像」がある。日本で最初にヒメマスが放流されたことでも有名。

奥入瀬溪流 おいらせけいりゅう(C)

十和田湖畔から焼山まで約14km続く溪流沿いにくつもの滝があり、「瀑布街道」とも呼ばれている。

旧笠石家住宅 きゅうかさいしけいじゅうたく(D)

国の重要文化財、1700年代後半に建てられた奇傑造り茅葺の民家。独特の建築様式が興味深い。

薦沼・薦温泉 つたぬま・つたおんせん(E)

ブナの原生林で囲まれた七つの沼の秘境。野鳥の宝庫としても知られる。温泉は風情溢れる一軒宿。

十和田乗馬倶楽部 とわだじょうばくらぶ(F)

広大な敷地で40頭の馬たちとはじめての体験から、青森の自然散策トレッキングや流綱馬競技レッスンまで。

酸ヶ湯温泉 すかゆおんせん(G)

雲上の靈泉とも、三通り十日で万病に効果が見られるといわれた国民保養温泉地第一号の温泉。

A



B



D



F

